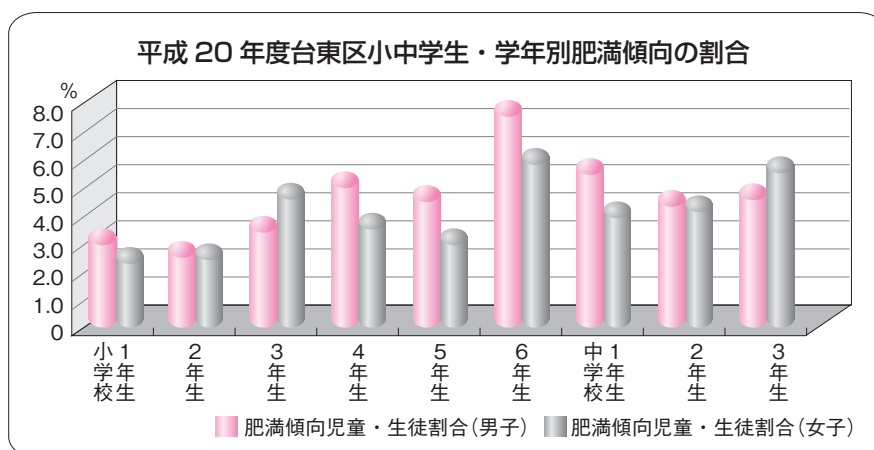


小児生活習慣病予防健診

? なぜこの事業を行っているのですか？

人が、生涯にわたって健康な生活を送るためには、子どもの頃から、食事や運動、睡眠など、生活習慣に注意することが大切です。特に、小・中学生の成長期に、望ましい生活習慣が身に付いていないと、生活習慣病（☞解説）の原因となるおそれがあります。

そのため、台東区では肥満傾向の増加が現れる小学4年生、中学1年生の時期に生活習慣病を予防するために健診を行っています。



「平成20年度東京都の学校保健統計書」より

? どのようなことを行っていますか？

区立学校に通う小学4年生と中学1年生の希望者を対象に、医療機関の協力を得て、次のような項目についての健康診断を行っています。

●生活習慣調査

家族歴や自覚症状、食生活、運動などの生活習慣について知ることによって、検査後の判定に役立てます。

●身長、体重、腹囲等

肥満度などを判定します。

●血圧

高血圧、低血圧の疑いをみます。

●血液検査

糖尿病、高脂血症、肝機能異常の疑いをみます。

また、全児童・生徒の保護者の方へリーフレットなどを配付し、生活習慣病予防の大切さをお知らせしています。

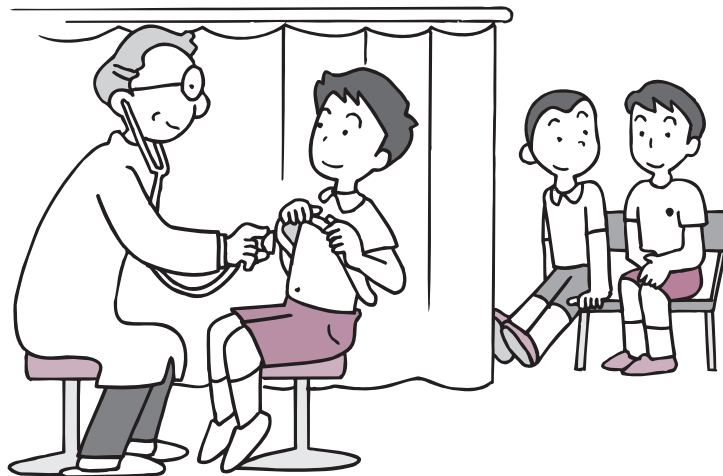
? 事業の進み具合はどうか？

この事業を始めた平成20年度の受診者は、小学4年生243人、中学1年生141人でした。

平成21年度からは、前年度の健診において「要経過観察」の判定を受けた児童・生徒も受診の対象としており、小学4年生600人、中学1年生400人の受診を目標としています。

? 今後はどのように取り組んでいくのですか？

子どもたちの生活習慣病予防には、保護者の方の理解と協力が必要です。健診の目的や内容などをリーフレット等でわかりやすく説明するとともに、講演会などを通して、生活習慣病について正しく理解してもらい、家庭での生活習慣を見直す機会となるよう、これからも普及啓発を図り、受診率の向上をめざしていきます。



■ この事業に関するお問合せ ■

教育委員会学務課

03-5246-1413

【解説】

生活習慣病

さまざまな生活習慣の積み重ねを要因として起こる病気の総称で、以前は「成人病」といわれていました。動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞、高血圧、肥満、糖尿病などがあります。